

第505回 放送番組審議会

1. 日 時 2015年2月17日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 12名

出席委員 9名

委員 長	池田 克典
副委員 長	吉江 信博
委員	平 英一
委員	國分 正人
委員	千葉 隆史
委員	小川口 寛
委員	三浦 茂樹
委員	恒川 かおり
委員	山口 博弥

欠席委員 3名

委員	鈴木 正之
委員	五日市知香
委員	嶋 誠治

社側出席者	檜崎 憲二 (代表取締役社長)
	山口 英二 (常務取締役)
	青山 尚之 (取締役報道制作局長)
	関 英祐 (報道制作局専任局長)
	野田 喜代志 (報道制作局次長)

事務局	遠藤 隆 (編成局長)
	丸谷 尚史 (編成局編成部副部長)

4. 議 題

1. 「いのちをつなぐ～母なる川へ～」
1月24日（土）15:00-15:30 放送
2. その他

5. 資 料（資料として以下のものを配布）

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側

- 最近では失われつつある家庭の味をサケはよく表している。宮古に勤務している頃新巻鮭。上物は贈呈用としても珍重される。家庭の味、感謝の気持ち伝えるサケの素晴らしさがよく伝わった。
- サケの漁のこと。歴史もよく説明され、復興への思いも伝わった。恵まれた土地、岩手。初めて聞いたのは緊急放流、海産親魚など初めて聴いた言葉があった。サケの食文化。いくらや新巻鮭への思いがどんなだったか、想像させた。
- 時間を追って孵化場を順番に紹介したが、予想を上回るところと不安が現実となったと話すところがあり、場所によって違うので分かりにくかった。地図など出してどこが良かったか悪かったか示して欲しかった。津波の影響かどうかもわかりにくかった。

局側

- 孵化場を1箇所だけ説明すると全体の状況と違う傾向になる可能性があったのでいくつかの孵化場取材した。ところがそれが足かせになり、あちこちになった。エリアの話も必要になってきた。頭から最後までずっとナレーションが入っている。絵で見せるところなどなく、反省点。

2月番組審議会（今回）のテレビ放送予定

◆ 2月24日（火）11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」